

授業科目名	【G】	憲法(人権) I	区分	開講年次	【G】 1	単位数	【G】 2
	【EF】	憲法(人権) I			その他参照		【EF】 1
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	基本的人権総論 幸福追求権 法の下での平等				担当者	小林 伸一	
授業概要	【概要】	基本的人権の思想、歴史を概観したうえで、公共の福祉や人権の私人間効力に関する判例や学説を取り上げる。これを基に、幸福追求権と法の下での平等について、通説的な学説に従いながら講述する。					
	【到達目標】	日本国憲法上の基本的人権を支える原理・思想・歴史並びに基礎概念、基礎理論を修得する。そのうえで、幸福追求権と法の下での平等のそれぞれについて具体的内容と限界を把握する。					
履修条件	本講義は、受講生すべてが憲法概論の単位を取得していること、並びに本講に続き憲法(人権) IIを履修することの2点を前提に進める。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)					
他科目との関連性	憲法(人権) IIは、基本的人権各論が講述される。したがって同講義は、本講義の応用編である。						
教科書	芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法第七版』(岩波書店 2019年) 適宜、Google Classroom上に講義レジュメを提示する。						
参考書	高橋和之著『立憲主義と日本国憲法第5版』(有斐閣 2020年) 宍戸常寿・巻美矢記・安西文雄著『憲法学読本 第3版』(有斐閣 2018年)						
評価方法	2回にわたる課題及び2回の中間テストを提示し、その解答の成績を基に評価を行う。						
フィードバック方法	中間テストには毎回、模範解答を提示する。また、節目節目で授業内容に対する質問や意見を受け付け、これに回答する。						
評価基準	本講の趣旨・内容につき、これを十分に把握し、そのことが課題、中間テストに対する解答に顕著に反映されていると判断できる受講生は、「S」または「A」とする。講義内容の理解が必ずしも十分とはいえず、しかも解答上の表現が的確とはいえない受講生は、その程度に応じて「B」または「C」とする。講義内容に対する理解が明らかに不十分で、しかもそのことが解答内容・表現に如実に表れている受講生は、その程度に応じて「D」または「E」とする。正当な理由なく課題の解答をしなかった受講生は、「F」とする。						
その他	受講生は、Google Classroom上に提示される講義レジュメや資料をダウンロードしプリントアウトできるようネット環境を整えること。 予習・復習は、各120分程度を目安としてください。 ※Gカリ:【選択必修(D)】 / EFカリ:選択						

授業科目名	【G】	憲法（人権）I	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【EF】	憲法（人権）I	その他参照		【EF】1		【EF】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス 人権宣言の歴史と思想その1(自然権論 社会契約論)						
	予習:	75頁～79頁	復習:	自然権論 社会契約論			
2	人権宣言の歴史と思想その2(フランス人権宣言 アメリカ権利章典)						
	予習:	75頁～79頁	復習:	フランス人権宣言 アメリカ権利章典			
3	人権宣言の歴史と思想その3(外見的人権 法律の留保)						
	予習:	75頁～79頁	復習:	外見的人権 法律の留保			
4	日本国憲法における基本的人権の特質						
	予習:	80頁～83頁	復習:	固有性 不可侵性 普遍性 前国家性			
5	日本国憲法における基本的人権の内容						
	予習:	83頁～87頁	復習:	基本的人権の6分類 制度的保障			
6	基本的人権の享有主体性その1(天皇・皇族 法人)						
	予習:	87頁～92頁	復習:	天皇・皇族 法人			
7	基本的人権の享有主体性その2(定住外国人 権利性質説 マクリーン事件最高裁判所判決)						
	予習:	92頁～98頁	復習:	定住外国人 権利性質説 マクリーン事件最高裁判所判決			
8	基本的人権の限界(公共の福祉)その1(一元的外在制約説 一元的内在制約説)						
	予習:	99頁～103頁	復習:	一元的外在制約説 一元的内在制約説			
9	基本的人権の限界(公共の福祉)その2(比較衡量論 二重の基準論)						
	予習:	103頁～107頁	復習:	比較衡量論 二重の基準論			
10	基本的人権の私人間効力その1(間接適用説 三菱樹脂事件最高裁判所判決)						
	予習:	111頁～116頁	復習:	間接適用説 三菱樹脂事件最高裁判所判決			
11	基本的人権の私人間効力その2(直接効力説 昭和女子大学事件最高裁判所判決 新無効力説)						
	予習:	111頁～119頁	復習:	直接効力説 昭和女子大学事件最高裁判所判決 新無効力説			
12	幸福追求権その1(人格的利益説 京都学連事件最高裁判所判決)						
	予習:	120頁～123頁	復習:	人格的利益説 京都学連事件最高裁判所判決			
13	幸福追求権その2(プライバシー権 自己情報コントロール権説 自己決定権)						
	予習:	123頁～129頁	復習:	プライバシー権 自己情報コントロール権説 自己決定権			
14	法の下での平等その1(法内容平等説 法適用平等説 相対的平等)						
	予習:	129頁～133頁	復習:	法内容平等説 法適用平等説 相対的平等			
15	法の下での平等その2(平等違反の違憲審査基準 再婚禁止期間事件最高裁判所判決)						
	予習:	133頁～153頁	復習:	平等違反の違憲審査基準 再婚禁止期間事件最高裁判所判決			

科目コード B211-2-X